

地域で守る避難訓練を実施 津久見高校地元住民合同避難訓練



11月1日、県民防災アクションデーの一環として、大分県立津久見高等学校と中田区の地元住民の方で大津波による災害を想定した合同避難訓練を実施しました。生徒たちは、地域全体が被災したときに、協力して迅速に安全な場所に避難することを今回の訓練を通して、学んでいました。

秋の芸能文化に親しんで 津久見市文化祭



11月10日・11日、「第48回津久見市文化祭with永井龍雲」が開催されました。今年で48回目を迎え、絵画や書道などの展示を行う「展示の部」に11団体、ダンスやカラオケなどの発表を行う「芸能の部」19団体が参加し、繊細な作品の展示や練習の成果を披露しました。

ひざや腰にかかる負担を減らします ノルディックウォーク体験



11月10日、満天の秋空の下、いま話題の「ノルディックウォーク」の体験教室がつくみん公園で行われました。公園内をゆっくり歩いたり、スロープや階段を使って、日常生活でも使いこなせるような体験ができ、最後には津久見の海沿いをみんなで楽しく歩きました。

ふるさと津久見をフレスコ画で表現しよう

第一中学校フレスコ画制作



11月16日、「ふるさと津久見をフレスコ画で表現しよう!」と題し、津久見の石灰を使ったフレスコ画制作の特別授業が開催されました。今回の特別授業では、文化芸術による子供の育成授業「子供 夢・アート・アカデミー」という、文化庁の事業の一つとして開催され、日本芸術院会員・独立美術協会会員・文化功労者の絹谷幸二先生を講師として迎え、第一中学校の3年生がフレスコ画の魅力や着彩の技法などを学びました。生徒たちは、みかんや桜、イルカ、花火などの自分の心に残る「ふるさと津久見」を描いたあと、互いの作品を鑑賞し、ふるさとの産業と芸術のすばらしさを、身をもって感じていました。

春のセンバツ出場なるか!? 21世紀枠大分県推薦校表彰式



大分県立津久見高等学校で、「第91回選抜高等学校野球大会21世紀枠大分県推薦校表彰式」が開催されました。今後は、12月中旬頃に九州各県から選ばれた推薦校の中から1校が選出され、来年1月下旬頃に全国9地区の候補から、21世紀枠で出場できる3校が決定します。

宇宙と地球の歴史が詰まった網代島へ 網代島現地説明会・講演会



熊本大学の尾上哲治准教授をお招きし、網代島での現地説明会と講演会が開催されました。現地では、参加者の方が色鮮やかな地層を観察したり、この地層から発見された「宇宙塵」から地球の歴史を探ってみたりと、身近に宇宙や地球の歴史を感じることができました。

災害の備えとして 脱着式防水板贈呈式



11月12日、株式会社日本ビッドから「脱着式防水板」を贈呈していただきました。今回の贈呈は、昨年の台風災害による浸水被害を受けて、少しでも役に立ちたい、防水板の良さを知ってもらいたいという思いから、市民図書館の入口など、図書館の3か所に設置していただきました。

津久見市消防団機能別女性消防団員結団式・消防体験会



11月11日、消防本部で「津久見市消防団機能別女性消防団員結団式」と「消防体験会」が開催されました。機能別女性消防団員は、火災発生時の消火活動等は行わず、女性ならではの視点を生かした、災害時の後方支援や各種広報活動、消防団行事の参加・運営補助などの活動を行います。この日は、団員となった5名の方に市長から消防団員腕章と消防団員キャップの交付があり、今後は、各種研修会への参加や県内外の関係団体との交流を行い、一般の消防団員とともに、安全・安心なまちづくりに努めていきます。

また、秋季全国火災予防運動期間に合わせ、「消防体験会」が初めて開催されました。朝早くからたくさんの人たちが集まり、子どもたちがロープにぶら下がって手と足を上手に使って渡る「渡過体験」やホースから水を出して、火を消すような真似をするという「放水訓練」など、数々の訓練体験ができ、また、消防職員による訓練披露や消防庁舎の見学、消防車・救急車での記念撮影と消防の魅力や活動を身近に感じてもらいました。



元気と笑顔あふれる運動会 盛人クラブスポーツ大会



10月26日、市営グラウンドで第28回盛人クラブスポーツ大会が開催されました。盛人クラブは、地区ごとに地域を基盤とした高齢者の自主組織で、原則として60歳以上の方で構成される団体です。市内各地区の高齢者の方が集まり、様々な種目に参加する元気な姿があり、笑顔あふれるスポーツ大会を楽しみました。

地域福祉に貢献された方々を表彰 津久見市社会福祉大会



10月25日、「第27回津久見市社会福祉大会」が市民会館で開催され、社会福祉の増進に貢献された方々が表彰されました。今年は、津久見市長表彰に12名、津久見市社会福祉協議会会長表彰に3名と1団体が表彰され、お互いに支え合うことを日々の暮らしの中から心がけ、更なる地域福祉の推進に取り組むことが宣言されました。

部落差別問題について考える 津久見市人権研修会



10月24日、津久見市人権研修会が開催されました。今回は、「部落差別の現状と課題～部落差別解消推進法制定をうけて～」と題し、一般社団法人 部落解放・人権研究所の名誉理事 友永健三さんをお招きし、部落問題の解決に取り組む歴史的背景や実際に起きた部落差別の事件などについて、ご講演していただきました。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。